

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年3月31日

1 事業名	民生児童委員協議会活動支援事業			コード	61108	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	社会福祉課	作成者	勝野 哲矢
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	福祉の充実	施策	地域福祉の推進	
		予算科目	民生児童委員協議会活動支援事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	あり	
		根拠法令	民生委員法、児童福祉法			

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	身近なところで相談や支援活動を行い、地域福祉の中心的役割を担う民生児童委員の研修会・会議等への開催協力や協議会の健全な継続運営への支援を行う。		
目的	対象者	岡谷市民生児童委員協議会	
	意図	民生児童委員協議会組織の強化及び地域住民に対する民生児童委員活動の充実	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
活動交付金・福祉委員報酬の支給及び以下の研修会や会議等について、事務局として運営に携わった。	<ul style="list-style-type: none"> 役員会 13回 月例・監査 市会議室 正副会長・会計・主任児童委員長 地区会長会 12回 月例 市会議室 役員・地区会長 主任児童委員会 10回 月例 市会議室他 各地区主任児童委員 部会、委員会 13回 随時 市会議室他 4部会×2回、視察研修委員会5回 総会 1回 定期(4/24) 研修会等 5回 随時 視察(愛知県あいち健康プラザ)、会長、1期目委員、2期目以降委員、主任児童委員 		
前年度の課題への対応	相談内容の多様化や困難ケースの増加に対応するため、1人で悩むことなく、民生児童委員同士の意見交換・交流・助言などにより協力し合い、円滑な活動体制を構築するため、多くの部会や研修会の開催などを支援した。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)	
① 直接事業費	18,340,711	18,654,040	18,418,816	18,519,000	
経常経費	18,340,711	18,654,040	18,418,816	18,519,000	
臨時的経費	0	0	0	0	
* 臨時的経費の説明					
② 人件費	3,760,000	3,760,000	3,760,000	3,760,000	
正規職員の人数(人)	0.47	0.47	0.47	0.47	
③ 合計コスト(①+②)	22,100,711	22,414,040	22,178,816	22,279,000	
前年度比		101.4%	99.0%	100.5%	
財源	22,020,711	22,335,040	22,096,816	22,179,000	
一般財源					
内訳	80,000	79,000	82,000	100,000	
* 特定財源の説明	民生委員交付事務費県委託金				
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
民生委員活動費交付金	件数	157	157	157	157
	金額	9,165,460	9,279,060	9,279,060	9,280,000
民生委員関係補助金	件数	1	1	1	1
	金額	1,201,200	1,299,200	1,195,300	1,202,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	10,366,660	10,578,260	10,474,360	10,482,000
	割合	56.52%	56.71%	56.87%	56.60%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	<p>(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)</p> <p>時代の流れに伴い近隣との付き合いの希薄化、低迷する経済状況、少子高齢化社会という現代において、地域に根ざして活動する民生児童委員の対応するケースは年々困難の様子が伺われるため、民生児童委員同士が協力し、支え合える体制強化が非常に重要となる。また、年金受給年齢の引き上げなどにより、退職後の再雇用などで、民生委員の選任することも難しくなっている。</p>
	<p>(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>現行の研修会や会議を含めて、市内或いは諏訪圏域などの民生児童委員が気軽に話し合い、交流でき、またそれ以降の連携を図り強化するための研修会等の機会を設けるなどの検討を行う。一斉改選においては、地域に密着した活動が可能な体制づくりに向け、区役員等地元地域からの推薦方法を更に充実させ、継続することで地域に根ざした活動の促進を図るとともに、2期、3期と受け継ぎながら、地域の中で民生委員を育てるよう区と連携を図る。</p>
改善方法	
改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	--	---